

藤井…お茶とお花は一応師範職で、お茶の淹れ方とかお抹茶の点てかたの基本がなっていたのかな、いと思うと。今日、こうやってお花（リトルブーツ）持ってきてくださったけども、病院なんかはこういう心づかいが大切なのね。

本原…あゝ。外のね。

藤井…そうですね、これ一つで明日亡くなる方もご家族の方も、癒されるとか、または野を感じる、外の空気を感じるとか。ねこじゃらし入れるだけで、部屋の中でも風を感じるとかって。こういう自然がね、大事なんです。

藤井…ホスピスでこういうことがあったの。奥様が寝てみえて付き添う旦那様が「3時の珈琲のタイムに2杯持ってきて下さい」って言うのね。奥様は全然飲めないのに。でも「はい、わかりました」って持って行くと、ご主人が奥様の鼻のところへ持ってって「母さん、珈琲淹れてくれたよ。おいしいよ。どう？」ってささやいてみえたのね。

旦那様に「珈琲好きだったんですね」って聞いたら「大好きだったんで、香りだけでも」って言われたの。それで、私は心臓だから、婦長さんのところへ行って「珈琲をあの方のお部屋で点てさせていただけませんか？」って。婦長さんも最初は「ん？」って言われたんだけど、わかっている方でしたので、すぐに「わかった」って。サイフォンをお部屋でたいてたら部屋中、珈琲の匂いになるじゃないですか。

本原…うんうん。

藤井…ご主人、ほんつとに涙流してね。「母さん珈琲の匂い…おいしいでしょ」って。藤井…お茶でもやっぱり心をこめて…みなさん美味しいって言うってくれるけど、カップを温めるだけでも味が違うから。そののちよっとした心遣いがいいのかなって。

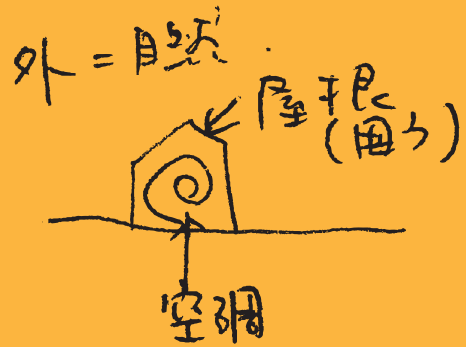
本原…香りとか音とか…。台所って食べるだけじゃないよね。

藤井…そうですね。ホスピスは台所があるから日常の物音が部屋にも届くでしょ。それがやっぱり癒しになる。病院ってまっ白の部屋で何もなし、シーンとしたところだけど、まな板の上でトントントンとか、私たちが洗ってるお茶碗がカチャカチャする音が良いんです。

本原…いいね、いいよね。

*ひろこさんに、お店で人気の生ジュースの作り方をおしえてもらいました。家族用とお店用ではすこし甘みを変えるそうです。翌日、姉妹さんでいただいた娘さんが作ったジュースは少し味が違いました。「バナナの完熟度でもちがうのよお」と言っていました。いつも一回だけの味です。（本原）

自然からの脱却



ニニ = ねに「やさしさが」
ひとあるだけ?
1回とか「感じ」るのよ